



都議選後、最初の申し入れ 五輪中止、学校連携観戦中止を



新しい都議団全員で、小池知事あてに「東京五輪の開催中止および学校連携観戦の中止を求める申し入れ」を行いました。



19人全員で、新宿駅にて「五輪中止」を求める宣伝行動。今からでも五輪中止を決断し、命を最優先にしてコロナ対策に集中すべきと訴えました。

五輪中止宣伝



五輪開会直前に競技会場、空港などの現地調査を行いました。

都議会第1回臨時会——会期延長を提案

- 都議会臨時会。小池知事がコロナ対策の補正予算を勝手に決めた「専決処分」の質疑が必要だと、会期延長の動議を提案しました。また、木下都議の辞職勧告決議を全会一致で可決。
- 同日、小池知事に対して「臨時議会の招集に関する要望」を提出。

所属委員会が決まりました。

総務	原のり子(北多摩第4/清瀬市・東久留米市) 福手ゆう子(文京区)
財政	○池川友一(町田市) △米倉春奈(豊島区)
文教	△とや英津子(練馬区) アオヤギ有希子(八王子市)
都市整備	○尾崎あや子(北多摩第1/東村山市・東大和市・武蔵村山市) 原田あきら(杉並区)
厚生	白石たみお(品川区) 藤田りょうこ(大田区)
経済・港湾	△あぜ上三和子(江東区) 清水とし子(日野市)
環境・建設	◎曽根はじめ(北区) ○里吉ゆみ(世田谷区) 原純子(江戸川区)
公営企業	◎大山とも子(新宿区) △斉藤まりこ(足立区)
警察・消防	和泉なおみ(葛飾区) とくとめ道信(板橋区)

◎委員長 ○副委員長 △理事

都議会第2回臨時会(8月18日~20日)



本会議質疑 あぜ上三和子都議

あぜ上都議は、▶コロナ感染急増を招いた小池知事責任、▶パラリンピックは中止しコロナ対策に集中、学校連携観戦の中止、▶医療・検査体制の充実、▶事業者・都民への支援などについて質問を行いました。



本会議討論 尾崎あや子都議

尾崎都議は、「都民の命よりオリンピック・パラリンピック優先」の小池知事の姿勢を厳しく批判し、新型コロナウイルス対策に全力集中することを求めました。

- 7
- 4
- 7
- 8
- 9
- 12
- 15
- 16
- 19
- 21
- 23
- 27
- 29
- 8
- 4
- 5
- 6
- 7
- 10
- 17
- 18
- 19
- 20

7月4日の都議会議員選挙の結果、日本共産党は、改選前18議席から19議席に前進しました。

- 「緊急事態宣言の発出に伴う補正予算について臨時議会の招集を求める申し入れ」(6会派共同)
- 幹事長談話「木下ふみこ都議会議員の辞職を求める」

五者協議(都、国、IOC、IPC、組織委員会)がオリンピック期間中の無観客開催と学校連携観戦の「中止」を決定。

- 「東京五輪開催に関する東京都並びに組織委員会に対する公開質問状」を提出

- 劣悪な環境で働く「五輪バス乗務員の宿泊環境の改善」を申し入れ 

- 新宿区歌舞伎町やゴールデン街などの飲食店から実態をヒアリング 

- 感染の状況が、4~5月の第4波のピークを超える深刻な事態。都がやるべきはオリンピックではなく徹底した都民・事業者への支援、ワクチン接種の強化、検査・医療体制の拡充など、20項目の「対策の抜本的強化を求める申し入れ」

- 「熱海市伊豆山の盛土崩落事故を受け、都内の残土処分場や盛土造成地の一斉調査と規制強化を求める申し入れ」

- 立川市でコロナ患者を受け入れている医療機関から現場の実態をヒアリング

この日から新しい任期開始

- 「横田基地への6機目のCV-22オスプレイ配備中止を求める申し入れ」 

- 「コロナ禍の中でこそ最低賃金を大幅に引き上げ、速やかに時給1500円以上の実現を目指すことを求める申し入れ」

- 五輪に関わる現場の実態把握プロジェクト(＃五輪の実態把握PJT)開始 入力フォームはこちらのQRコードから 

- 東京外環道の陥没事故・工事再開について国交省にヒアリング

- 大田区でPCR検査などを実施している医療機関からヒアリング

- 「中学英語スピーキングテストの中止を求める申し入れ」

- 「都民の命を最優先にしたコロナ対策に関する緊急申し入れ」

- 新宿区でコロナ患者の在宅診療を行う医療機関の医師からヒアリング 

- 都立病院のコロナ病床に勤務する看護師さんからヒアリング

- 「熱中症から命を守る対策についての申し入れ」

- 練馬区でコロナ病床のある医療機関の医師からヒアリング 

- 「9・1関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典にたいする追悼文送付の再開を求める申し入れ」

臨時教育委員会でパラリンピックの学校連携観戦について、出席した4人の教育委員全員が反対や中止の意見を表明。

市民と野党の共闘

議会招集請求権を獲得 臨時会でコロナ質疑を実現

小池知事が勝手に予算を決める「専決処分」をくり返していることに対して、日本共産党都議団は6会派共同で、議会での審議を何度も求めてきました。都議選の結果、日本共産党と立憲民主党

で都議会の4分の1以上の議席を得て「議会招集請求権」を獲得。8月臨時会は当初1日の予定でしたが、3日間となりコロナ関連質疑が実現しました。

実効性が不明確な若者ワクチン促進事業 予算修正案を共同で提出

補正予算の修正が立憲民主党から提案され、生活者ネットと日本共産党の3会派共同で提出。若者対象の「ワクチン接種促進キャンペーン事業」10億円を、若者に問題があるかのような誤ったメッセー

ジとなる恐れがあることや巨額の予算に対し実効性が不明確なことなどにより、削除するものです。希望する方が安全・迅速に接種を受けられる環境を整えることこそ必要です。